

## 令和4年度第1回印西市総合計画審議会 会議録

- 1 開催日時 令和4年7月29日（金）午前10時00分～午前11時10分
- 2 開催場所 印西市役所別館1階 農業委員会会議室
- 3 出席者 吉村彰 会長、篠田道雄 委員、柴崎達夫 委員、野々村浩明 委員、  
武田好子 委員、海老原稔 委員、青柳和江 委員、菊地謙治 委員、  
青木和浩 委員、門田高朋 委員、森山崇 委員、大竹たまい 委員、  
小林正一 委員、竹内仁 委員
- 4 欠席者 熊谷公 委員
- 5 事務局 企画政策課：高平課長、藤崎課長補佐、海老原係長、大三川主査、  
阿部主査補
- 6 傍聴者 1名
- 7 議事 (1) 令和3年度分行政評価について
- 8 会議録 要点筆記（議事について要点を筆記しています。）

### 【議事】

吉村会長： 議事（1）令和3年度分行政評価について、事務局より説明願います。

事務局： 資料に基づき説明

吉村会長： 事務局の説明が終わりました。本日の会議の資料送付文にも記載がありましたとおり、新型コロナウイルス感染症対策による会議時間短縮のため、質問事項を事前に提出していただくようお願いされておりましたが、当日配付資料として配付されている「質問等についての回答について」の説明を事務局よりお願いします。

事務局： 資料に基づき説明

吉村会長： それでは、事前質問された方は今の回答でよろしいでしょうか。何かあれば再質問をお願いします。  
ないようでしたら、事前質問以外でこの場で質問したいことがあれば挙手にてお願いします。

門田委員： 資料3の事業30番60ページ、情報化社会に対応した教育の推進の活動指標が目標値を大きく上回っているので量としては高く評価できます。一方、質という部分では、昨今のSNSに関連した犯罪発生の事例などから、生徒児童が正しくインターネットを使えることや、オンラインで交流する際の注意点・マナーなどの情報モラルを身に付けることが重要であります。そのための情報教育について、より一層の充実を図るため、具体的な取組を推進していただきたい。2点目として、資料3の事業31番62ページ、信頼される学校づくりの成果指標である学校ホームページの年間アクセス数が大幅に目標値を上回っており、コロナ禍の影響もあったのかと推察しますが、この要因について伺いたいです。また、実際に多くの人々がホームページを見る機会が増えたという事実をチャンスと捉え、更なるホームページの充実や信頼される学校づくりにつながる新たな情報発信を積極的に取り組んでいただきたい。特にコロナ禍で運動会、卒業式などの学校行事で子どもを見る機会が減っている状況にあるので、学校生活をYouTubeで配信するなど新たな発信について積極的に検討していただきたいと思います。また、総合計画でも就職を機に20代前半の若者世代が多く転出するという課題が記載されていますが、その対策として地域への愛着を育むことが挙げられ、そのため小中学校の教育において地域と接する機会を持つことが良いのではないのでしょうか。例えば、小中学生の職場見学や職場体験のように地域と接する・つながる機会を増やす更なる取組を推進してもらいたいです。さらに、3つ目として、資料3の事業43・44番85ページから88ページにかけての商工業・起業について、特にふるさと地元産品の周知について苦慮しているように見えます。らーばんチャンネルではコミュニティチャンネルを活用して白井市の地元産品の周知を実施しているので、印西市とも連携・協力できる部分もあるかと思います。また、牧の原モアに牧の原テーブルを設置し、食をテーマにして人と人の繋がりを提供しており、子育て支援の取組やコワーキングスペースを展開しているので、起業や創業に関する取組についても印西市と情報提供しながら取り組めるのではないかと感じています。

事務局： 貴重なご意見ありがとうございました。印西市の教育については、GIGAスクール構想ということで力を入れています。ホームページのアクセス数はご指摘のとおりコロナの影響が大きいところですが、いただきましたご意

見は教育委員会へ伝えます。また、商工業についても、市の取組として連携していく必要がある事業だと認識しています。

吉村会長： 私の意見としては、実施計画を策定し評価するという見える化をしていることで、着実に成果を上げてきていると感じています。大多数の事業がB評価ですが、今回目標値に達しなかった事業については原因を検証し、次年度に活かしていただくなど、PDCAサイクルがうまく回っているのではないかと思います。  
他に何かご意見ありますか。

海老原委員： 資料3の事業9番18ページ、高齢者の生きがいくくりと社会参加の促進の成果指標となっている高齢者クラブ登録会員数は、年々減少している状況です。対して、補助金は約460万円で、クラブ会員1人当たりになると約2,500円が交付されている状況です。また、65歳以上の高齢者クラブ加入率は約7.4%、すなわち100人のうち7人しか加入していないということになります。この事業の推進を図るためにも、もっと多くの人に加入していただきたいので、市としても加入者増加の取組を行っていただきたい。

事務局： 市の広報を活用するほか、今の実態を踏まえて会員数が増えていかない原因を検証して、目標値に近づくような取組を担当課と協議して進めたいと思います。

海老原委員： 本日は令和3年度の評価ということで、令和4年度や令和5年度の内容についてはまた別途ということでしょうか。

事務局： 今回は令和3年度の取組についての評価であり、今後の実施計画事業については今回の評価を基に実施・見直しを行っていきます。

海老原委員： では、この評価票に記載されている3か年の実施内容はいつ書かれたものでしょうか。

事務局： 令和3年4月に3か年分の内容を取りまとめたものになります。

篠田委員： 資料3の事業49番良好な土地利用の推進について、ニュータウン外の調整区域の開発についても検討が必要ではないかと思えます。今後10年で開発が終了し、市の人口は頭打ちになるでしょうから、その周辺部をどうしていくかの検討が必要と考えます。また、事業39番の農業の担い手の確保に関して、国や県は農地を集積し大規模農業を推進するとしていますが、実際には農家の同意や基盤整備など課題も多い状況です。また、農地の集積や法人化による大規模農業といっても、日本は家族経営による兼業農家が多いため、大規模農業の推進だけでは難しい状況です。その中で、農業の担い手が少なくなっているのは収入にならないからで、米価は1俵1万円を割っており、たいして経費は10俵で12万円かかる状況なので、コスト割れしている。この状況を考えないと、担い手は増えない。先日、印旛郡農業委員会の代表として県の審議会に出席したときに、農林水産省の職員も来ていたので同様のことを伝えました。

事務局： 市街化区域と市街化調整区域の問題は非常に重要であると認識しており、印西市都市マスタープランでそれぞれ具体的に示していますが、今後どうしていくのかは大きな課題であります。農業の担い手についての評価は、今回は周知回数などの設定目標値を上回ったことによりA評価となりましたが、担い手の確保そのものの課題については、引き続き担当課と協議し新たな目標設定をするなど施策の推進に努めていきたいと思えます。

篠田委員： 農業委員会と農政課でも、集落ごとの人・農地プランについて農家と話していますが、大規模農業についてやる気のある人もいますが、半数以上はこのままでは継続できないと話している状況です。担い手の確保は、難しい問題だとは思いますが、よろしく願いいたします。

野々村委員： 行政評価と直接関係ないのですが、コロナ禍ということもあり町内会自治会連合会において全町内会・自治会を対象に、意見、要望、課題、懸念等についてのアンケートを実施しました。その中で一番多かった課題が、会員の高齢化と減少、役員のなり手がいなくなっているということでした。また、水害や地震等の災害時の対応についての懸念が多くありました。これらを考えると、今後は町内会・自治会の存続が難しいのではないかと感じています。

事務局： 行政評価としては事業68番のコミュニティ活動の推進が該当しますが、先日、京都府亀岡市議会が行政視察で印西市に来て、その中で町内会・自治会が減少して運営が難しい状況となっており、苦慮していると伺いました。ですので、印西市としてもPDCAサイクルにより実態をよく捉え、行政評価を活用し施策を推進していくと必要があると考えます。

野々村委員： 明日、市役所3階大会議室で連合会理事会を開催しますが、今回のアンケート結果を議題とする予定でいます。今後3年～5年後には町内会・自治会運営が厳しくなってくるというのが所感ですので、この場で報告させていただきました。

吉村会長： 流山市でも同じような状況で、多少地域により違いはあるにせよ、全国の自治体で同じような問題を抱えている状況かと思います。町内会・自治会に協力したくても普段昼間は働いているなどして活動するのが困難な人が多く、必然的に退職した高齢者が多くなってきます。時代に合わせて行事を減らすなど工夫が必要で、行政だけではなく地域を含めて考えないと解決できない問題がたくさんあると思います。

それでは、その他に何かありますか。

ないようですので、議事（1）について以上といたします。

本日の議事について全て終わりましたので、進行を事務局にお返しします。

事務局： それでは以上をもちまして、令和4年度第1回印西市総合計画審議会を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。

